

<b>仕 様 書</b>		仕様書番号	T-011200C01~03		
		図面番号	T-011200C01	設 変	頁 1/3
製品名	セラミックアレスタ Y08J-202B	制 定 日	2001/10/31	改 訂 日	
		作 成 部 門	技術部 雷防護技術グループ		

1. 概要

本品は、通信回線や、信号回線に誘起される雷誘導電圧等から通信機器や、その他の機器等を保護する素子です。

2. 外観・構造・寸法

本品の外観・構造・寸法は、外観図T-011200A01によります。

3. 定格使用温度・湿度範囲

定格使用温度範囲 :  $-30^{\circ}\text{C}\sim 65^{\circ}\text{C}$   
 定格使用湿度範囲 : 90%以下

4. 定格保管温度・湿度範囲

定格保管温度範囲 :  $-30^{\circ}\text{C}\sim 65^{\circ}\text{C}$   
 定格保管湿度範囲 : 90%以下

5. 電気的性能

本品の電気的性能は、表-1に示す通りです。また、試験方法および試験回路は表-3に示す通りです。

表-1 電気的性能

No	項 目	条 件	規 格	
1	直 流 放 電 開 始 電 圧	5 kV/sec	2000V $\pm$ 20%	
2	インパルス放電開始電圧	1.2/50 $\mu$ s, 10kV $\cap$ 加	$\leq$ 2800V	
3	絶 縁 抵 抗	DC 500V	$\geq$ 10,000M $\Omega$	
4	静 電 容 量	1MHz	$\leq$ 1.0 pF	
5	インパルス電流耐量	8/20 $\mu$ s 10kA 10回 (3分間隔)	1項	2000V $\pm$ 30%
			2項	$\leq$ 3000V
			3項	$\geq$ 100M $\Omega$
6	インパルス寿命	8/20 $\mu$ s 100A 100回 (1分間隔)	1項	2000V $\pm$ 30%
			2項	$\leq$ 3000V
			3項	$\geq$ 100M $\Omega$

注) 測定時の温度・湿度は、JIS Z 8703 (試験場所の標準状態) に記す、常温 (20 $\pm$ 15 $^{\circ}$ C) ・常湿 (65 $\pm$ 20%) によります。

<b>仕 様 書</b>		仕様書番号	T-011200C01~03		
		図面番号	T-011200C02	設 変	頁 2/3
製品名	セラミックアレスタ Y08J-202B	制 定 日	2001/10/31	改 訂 日	
		作 成 部 門	技術部 雷防護技術グループ		

6. 検査条件

本品の検査条件は、表-2に示す通りです。

表-2 検査条件

No.	検 査 項 目	検査の種類	検 査 方 式		
1	外 観 ・ 構 造	通常検査	水準 I	Ac=0	Re=1
2	寸 法	通常検査	n=5	AC=0	Re=1
3	絶 縁 抵 抗	通常検査	水準 I	Ac=0	Re=1
4	直 流 放 電 開 始 電 圧	通常検査	水準 I	Ac=0	Re=1
5	インパルス放電開始電圧	随時検査	n=20	AC=0	Re=1
6	静 電 容 量	随時検査	n=32	AC=0	Re=1
7	インパルス電流耐量	随時検査	n=10	AC=0	Re=1
8	インパルス寿命	随時検査	n=10	AC=0	Re=1

通常検査の抜取方法は、ISO 2859によります。

7. 包装形態

本品は、トレー（100個入）に入れ、さらに10枚を包装箱（1,000個入）に入れます。

8. 保証

本品の保証期間は、納入後1年とします。

保証期間内における製造者の設計または、製造上の欠陥に起因する故障が発生した場合には、その現品に限り代替品納入の処置をとらせていただきます。

表-3 電氣的性能の試験方法および試験回路

No	試 験 項 目	試 験 回 路	試 験 方 法
1	直 流 放 電 開 始 電 圧		<p>電極間に直流電圧を徐々に印加して放電を開始した時の電圧値を読む。</p> <p>電圧上昇速度：5 kV/s</p>
2	イ ン パ ル ス 放 電 開 始 電 圧		<p>電極間にインパルス電圧を印加して放電を開始した時の電圧値を読む。</p> <p>条件：1.2/50μs , 10kV印加</p>

<h1>仕 様 書</h1>		仕様書番号	T-011200C01~03		
		図面番号	T-011200C03	設 変	頁
製品名	セラミックアレスタ Y08J-202B	制 定 日	2001/10/31	改 訂 日	
		作 成 部 門	技術部 雷防護技術グループ		

No	試 験 項 目	試 験 回 路	試 験 方 法
3	絶 縁 抵 抗		<p>絶縁抵抗計の測定電圧を規定値に設定して電極間の絶縁抵抗を測定する。</p> <p>測定電圧：DC500V</p>
4	静 電 容 量		<p>静電容量計の測定周波数を規定値に設定して電極間の静電容量を測定する。</p> <p>測定周波数：1MHz</p>
5	インパルス電流耐量		<p>電極間にインパルス電流8/20μs、10kAを正極、負極それぞれ5回印加する。(3分間隔)</p>
6	インパルス寿命		<p>電極間にインパルス電流8/20μs、100Aを1~2分間隔で、100回印加する。</p>